

非接触・非装着型トレーニングシステム TANO最新2021

6月発売開始!

TANOは、福祉・教育の課題解決プラットフォームテクノロジーとして
産学官連携に利活用されるツールとなる事を目指しています。

TANOを利用した新しいサービスや研究開発、独自サービスや機器との組み合わせに利用される事で
新しい価値を連携開発されるように設計されています。

自動連続再生 TANOループ

TANOループは、TANO2021の新機能です。
「レクリエーションセット」「リハビリセット」「キッズセット」「イベントセット」「脳トレセッタ」など、用途に合わせたコンテンツセットをループ再生できるようになりました。
スタッフの作業時間の削減が可能になります。

TANO2021 新コンテンツ

卓球2021

ビジョントレーニングと組み合わせて活用するために卓球コンテンツを追加しました。

エアーバイク

ペダルをこぐ動きと連携させるため、膝の上下運動により風景が進んでいくコンテンツを追加しました。

測定コンテンツ

体の柔軟性や反射神経などを測定するコンテンツを追加しました。

トレーニング機器との連携

TANO2021では、コンテンツにより、様々なトレーニング機器と組み合わせることができます。より臨場感溢れるトレーニングを行うことができます。

RealSense 対応

サイズも重量も、1/2以下に軽量化しました。

TANO活用事例

設備投資としての新しいサービス
地元観光名所を組込み、VR体験
イベント集客ツール
TANO活用方法は無限大
コンテンツのカスタム変更可能

TANOの様々な活用方法

TANOの魅力は、リハビリやトレーニングだけではありません。レクリエーション、サービス、教育など活用方法は多種多様です。また、誰でも簡単に操作ができることから、年齢関係なく様々なシーンで利用することができます。

おすすめプログラム紹介

TANO専用二次元コードをスキャンするとプログラムが始まります
※携帯電話・スマートフォンなどでは読み込めません。

花火 上から落ちてくる星をタッチしよう。同じ色の星と肩手肘を当てよう。 上半身運動 1人 3人 QR code	窓ふき 両手を大きく使って窓をひいていこう。 上半身運動 1人 2人 QR code
的あて 的にむかってボールを投げてみよう。 上半身運動 1人 3人 QR code	サッカー キックするとボールができるよ。的に向かって蹴ってみよう！ 下半身運動 1人 3人 QR code
まきわり 腕を上下させてまきを割ろう。 上半身運動 1人 3人 QR code	とざん 手や体を動かすと風景が進んでいきます。 歩行運動 1人 多数 QR code
福わらい 順番に流れてくる顔のパーツを声を出して止めよう。 発声 1人 多数 QR code	さかなつり ウキが沈み切ったら手の動きで釣りあげよう。 レクリエーション 1人 6人 QR code

設定 時間 難易度 速度 マイク感

セット内容

TANO は据置式と可動式の基本セットがあります。モーションセンサーを使わずに待合室などで自動再生をすることもできます。

液晶モニタ（オプション） 制御システム（PC） モーションセンサー 二次元コードリーダー	据置式	可動式
---	-----	-----

お問い合わせ先

TANO TECH TANOTECH株式会社
〒254-0034 神奈川県平塚市宮の前1-4パーゴン平塚ビル5F
TEL 0463-73-5490
http://www.tanotech.jp/
info@tanotech.jp

※「TANO®」は（株）ラッキーソフトの登録商標です。
※「ケアピット」は（株）リテックの登録商標です。



モーショントレーニングシステム

TANO



「たのしい」だから続けられる。

多彩なプログラム

TANOは「運動」「発声」「測定」「クイズ」など体や声の動きで楽しめるニュータイプのモーションシステムです。「花火」「さかなつり」「サッカー」といった運動プログラムから「測定」「記念撮影」や「bingo抽選」などの便利なツールまで様々なプログラムがパッケージになっています。



楽しくリハビリテーション

TANOをより効果的にリハビリテーションに役立てるため、理学療法の専門家にプログラムの監修を依頼しました。監修を元に、介護施設でのリハビリテーションでの効果の測定を行いました。「ロボット実証実験支援事業」ではTANOの実証実験の前後で、自己効力感において被験者に明らかな変化が現われました。また、普段同じような動作を1~2分程度しか持続できない被験者が、長時間にわたって取り組めるようになりました。



TANO

TANOはコントローラーを持たずセンサーの前に立つだけで、体の動きや音声に反応して直感的に楽しめます。約100種類のプログラムは、リハビリテーションやトレーニングだけではなく、レクリエーションとしてもご活用いただけます。プログラムの魅力は、自然と無理なく楽しみながら体を動かせることです。リハビリテーションに適した体の動きを取り入れており、年齢に関係なく誰でも簡単にご利用できます。



運動と意識せずに自然に体が動き出す。自立支援・モーショントレーニングシステム

簡単操作で気軽に楽しめる、協力しながら体を動かす、声を出す、広がっていく笑顔のコミュニケーション

世界に広がるTANOの輪

TANOは多言語対応しており、海外でも多く活用されています。誰でも、説明がなくても、すぐに始められる。今、世界でTANOの笑顔の輪が広がっています。



現場の要望に応える

事前に道具を揃えたり、準備をする必要がなく、スタッフの時間短縮ができます。参加人数やメンバー、時間によってプログラムを選べるので、急な変更にも対応できます。ほとんどのコンテンツは座ったままでも遊べます。

「介護スタッフが行うレクリエーションの要素がコンテンツに盛り込まれている」などといった高い評価を得ております。



「ピッ!」っと簡単選択

全てのプログラムは二次元コードをスキャンするだけで、簡単に始められます。プログラムの途中でも難易度などの設定が操作できます。マウスやキーボードが必要ありません。

ジャンルごとに分かれた分かりやすい設計になっていて、プログラムの内容はマスコットキャラクター「TANO坊」がガイダンスします。

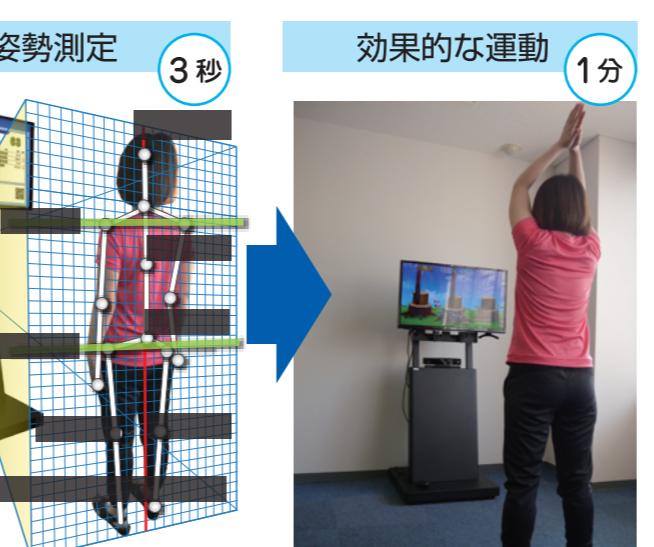
初回はモニターの声も小さかったが、終盤には発声プログラムで大きな声を出し、他者を応援するなど、モニター間の連帯感も高まった。

厚生労働省 福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2016 より 実証協力：社会福祉法人シルヴァーウィング



姿勢測定+運動のAIシステム

ケアピットで姿勢測定をすると、体のゆがみ箇所に合わせて自動的にTANOの中からプログラムが抽出されます。測定と運動の繰り返しを日常化することによって、健康的な姿勢と運動不足の改善が期待できます。



TANOの利用者様や介護施設様から様々な喜びの声をいただいております

お客様の voice 声



普段より多い運動量

T様 要介護3
脳卒中片麻痺
単調な運動がリハビリテーションには多いから飽きが出ちゃうことはあるよね。でも、このシステムを使うと集中して行えるから普段の運動量よりも多いんじゃないかな?

場所を意識して動かす

S様 要介護2
脳卒中片麻痺
リハビリテーションは体の機能回復と思っていました。TANOに制約をつけてもらって意識する場所を教えてもらったら、いつもやっていることと同じだということが分かったわ。

苦手なところを再確認

M様 要介護2
パーキンソン病
体が固くなっているのに動けないことが多い。TANOは自分の苦手なところを再認識できるのがいいね。少し子供向けても思うけど、目的意識を持って行えばしっかり使えるよ。

voice

今までバランスが悪いと言われてもいまいちイメージがつかなかったが、TANOを使うとバランスの悪さを実感できるから、次に繋げることができた。

voice

日頃は麻痺側は痛いので動かさないようになっていたが、この画面の範囲なら、頑張って動かしてみようと思え、手で支えるなど工夫して使った。

voice

プログラムは結構きついが、画面が楽しいし、得点ですぐに前回の自分との結果比較ができるので、痛みを忘れて夢中になって体験できる。

知らず知らずに体が動く、夢中になって声を出す。

voice

「運動」とは、辛く孤独なものだと思っていたが、楽しんでいいのだと発想転換できたソフトウェアだ。

voice

プログラムをこなすと疲れるが、心地よい疲労。デイサービスの日の夜は、ぐっすり良眠できるようになった。

voice

「運動」と気張らずとも、知らず知らずのうちに体が動く。

モニター調査協力施設の声

大きな声を出して応援、モニター間の連帯感も高まる

モニターは認知症で物忘れがあり、毎回TANOの記憶はないが、「こんなのは初めて」と新鮮な気持ちで楽しめ、一方で体はコツを覚え、プログラムの得点が回を増すごとに上昇した。実施中、画面風景からモニターの思い出話も広がった。意外な一面を知り、施設スタッフとモニターの親近感も増した。操作側も楽しみ、その名通り、「TANO(樂)」しさ最上級であった。

声で遊ぶトレーニングが画期的

実証の様子

モニター調査協力施設の声

大きな声を出して応援、モニター間の連帯感も高まる

モニターは認知症で物忘れがあり、毎回TANOの記憶はないが、「こんなのは初めて」と新鮮な気持ちで楽しめ、一方で体はコツを覚え、プログラムの得点が回を増すごとに上昇した。実施中、画面風景からモニターの思い出話も広がった。意外な一面を知り、施設スタッフとモニターの親近感も増した。操作側も楽しみ、その名通り、「TANO(樂)」しさ最上級であった。

声で遊ぶトレーニングが画期的

実証の様子

声で遊ぶトレーニングが画期的

画期的なのは、声で遊ぶトレーニングが豊富なこと。リハビリテーションと言うと「運動！」と気を張りがちですが、長く続けていくには「楽しさ」「笑い」「励まし合う仲間」が大切です。TANOは声量・声の高低、長く発声するなどゲームに肺活量アップや口腔機能向上の工夫が満載です。大声を出し、照れながらも自分をさらけ出すと不思議なことにゲームに慣れただ頃には、みんな心がほぐれ会話が弾みます。

保健師 看護師 介護支援専門員

小島 宏美